

排出削減実績報告書

排出削減事業の名称：

ボイラーの高効率化と天然ガス化による
温室効果ガス削減事業

排出削減事業者名：(株) 千代田グラビヤ

排出削減事業共同実施者名：

J-クレジット制度事務局

(平成 29 年度受託者：みずほ情報総研株式会社)

その他関連事業者名：

1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	株式会社千代田グラビヤ
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	株式会社千代田グラビヤ 潮来第一工場
住所	〒311-2434 茨城県潮来市島須 3075-43
排出削減事業共同実施者（国内クレジット保有予定者）	
排出削減事業共同実施者名	J-クレジット制度事務局 (平成 29 年度受託者：みずほ情報総研株式会社)
その他関連事業者	
関連事業者名	

2 排出削減活動の概要

2.1 排出削減事業の名称

ボイラーの高効率化と天然ガス化による温室効果ガス削減事業

2.2 排出削減事業の目的

高効率のガスボイラーへの設備更新とA重油から天然ガスへの燃料転換により、二酸化炭素排出量を削減する。

2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

現在使用中のA重油ボイラーを高効率天然ガスボイラーへ更新する。ボイラーの高効率化と天然ガスへの燃料転換を図ることにより、二酸化炭素排出量の削減を図る。

2.4 国内クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

該当なし

3 排出削減活動期間

3.1 プロジェクト開始日

2009年2月21日

3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

2013年4月1日～2017年1月31日

4 温室効果ガス排出削減量

4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
001	ボイラーの更新

4.2 活動量

4.2.1 活動量・原単位

本削減事業においては活動量・原単位は用いない。

4.2.2 活動量の採用根拠

4.3 事業の範囲（バウンダリー）

本事業の範囲は、既存の重油ボイラー6台と更新後の天然ガスボイラー6台の燃料使用に由来するCO₂排出量である。これらボイラーが生産した蒸気を社外へ供給することはないため、事業の範囲は、更新する天然ガスボイラー及び更新するボイラーから蒸気の供給を受ける設備である。

5 モニタリング対象指標

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・ 根拠資料	(モニタリング方法に変更ある場合、) 変更理由
$F_{fuel,Pj}$	LNG 使用量	t/年	2013 年度 144.9 2014 年度以降 403.1	ボイラー手前の流量計を元に集計・算定	LNG については、LNG 使用設備の追加により、対象ボイラーでの LNG 使用量を適切に計測するため
$HV_{fuel,Pj}$	LNG の単位発熱量	GJ/t	55.0 54.5	2013 年デフォルト値 2014 年以降デフォルト値	
ε_{Pj}	事業実施後のボイラー効率	%	89.6 (高位発熱量)	カタログ値より換算	
ε_{BL}	事業実施前のボイラー効率	%	84.8 (高位発熱量)	カタログ値より換算・算出	
$CF_{fuel,Pj}$	LNG の単位発熱量あたりの CO2 排出係数	t-CO2/GJ	0.0502 0.0513	2013 年度デフォルト値 2014 年以降デフォルト値	

6 排出削減量の計算

6.1 事業実施後排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
2013 年度 144.9t	55.0 GJ/t	0.0502 t-CO2/GJ	400.1t-CO2
2014 年度以降 403.1t	54.5 GJ/t	0.0513 t-CO2/GJ	1,127.0t-CO2
EMPj			1,527.1t-CO2

6.2 ベースライン排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
813.3 kL	38.9 GJ/kL	0.0708 t-CO2/GJ	2,239.9t-CO2
EMBL			2,239.9t-CO2

6.3 リークージ排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
2013 年度 3.4t	55.0 GJ/t	0.0502 t-CO2/GJ	9.4t-CO2
2014 年度以降 9.6t	54.5 GJ/t	0.0513 t-CO2/GJ	27.0t-CO2
LE			36.3t-CO2

6.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	
ベースライン排出量 (7.2)	<i>EMBL</i>	2,239 t-CO2
事業実施後排出量 (7.1)	<i>EMPJ</i>	1,527 t-CO2
リークージ排出量 (7.3)	<i>LE</i>	36 t-CO2
温室効果ガス排出削減量	<i>ER</i>	676 t-CO2

7 省エネルギー量

原油換算 (kl)		
ベースライン (①)	実績 (②)	ベースライン-実績 (①-②)
816	790	26.0

熱量換算及び原油換算において用いる換算係数については、エネルギー使用の合理化に関する法律（省エネ法）施行規則第4条に規定する換算係数を使用すること。

9 再生可能エネルギー利用量

	モニタリング期間 (年 月 日 ~ 年 月 日)			
		エネルギー使用量 (実績)	熱量換算 (GJ) (実績)	原油換算(kl) (実績)
	単位			
	t			